認知神経リハビリテーションベーシックコース　2014　（高知）プログラム

	第1日　2014年8月23日（土）	
	［脳とリハビリテーション］	
12：00～	受付開始	
12:50～	オリエンテーション	
13:00～14:30	■アノーキンの「機能システム」を理解する （認知神経理論、運動学習、知覚−運動円環）	園田
14:40～15:40	■ルリアの「認知問題」を理解する （認知プロセス、知覚仮説、治療的訓練）	沖田
15:50～16:50	■モナコフの「機能解離」を理解する （特異的病理、再組織化、代償機構）	宮本
17:00～18:00	■ヴィゴツキーの「心理的道具」を理解する （認知問題、最近接領域、細分化）	佐藤
18:00～18:15	■ポイントの言語化①	

	第2日　2014年8月24日（日）	
	［システムアプローチと運動機能再学習］	
9:00～9:45	■観察のプロトコルⅠ（外部観察と内部観察）	佐藤
9:45～10:30	■Ⅱ（行為の観察とプロフィール）：実技	園田
10:40～11:25	■訓練のプロトコルⅠ（訓練の組織化と治療計画）	沖田
11:25～12:10	■Ⅱ（身体運動のシステムアプローチ）	園田
13:10～17:10	■Ⅲ（上肢・下肢・体幹に対する訓練の実際）：実技 Ⅲ−1　上肢 Ⅲ−2　体幹 Ⅲ−3　下肢	講師全員
17:10～18:10	■半側空間無視と失行症の観察と訓練：実技	宮本
18:10～18:15	■ポイントの言語化②	
19:00～	レセプション	

	第3日　2014年8月25日（月）	
	［身体化された心（エンボディメント）］	
9:00～9：45	■認知を生きる：一人称の世界観（症例）	佐藤
9:45～10:30	■自己主体感：皮質−皮質下のインタラクション	平谷
10:40～11:25	■ニューロマトリクスと痛み	八坂
11:25～12:10	■リハビリテーション文化とセラピスト	沖田
	［行為間比較（CTA）］	
13:10～14:10	■訓練のツールとしての行為間比較（症例）	田渕
14:20～15:05	■行為のイメージ間の比較と関連付け	園田
15:05～15:25	■グループ討議（パラダイムシフト以降の臨床展開）	講師全員
15:25～15:30	質疑応答・総括	
	終了	